

水田コレクション展

浮世絵版画の 技巧と表現

2014年4月22日(火) ▼ 5月17日(土)

■ 開館時間／午前10時～午後4時

■ 休館日／日曜日・月曜日・祝日

※ただし、29日(祝・火)は開館、
30日(水)～5月2日(金)は全学休講のため休館

■ 会場／ギャラリー1、2

■ 入館料／一般300円

本学学生・高校生以下無料



図版＝鈴木春信《六玉川 調布の玉川》部分、中判錦絵 明和4年(1767)頃



城西大学水田美術館
MIZUTA MUSEUM OF ART, JOSAI UNIVERSITY

浮世絵版画の 技巧と表現

水田コレクション展



1



2



3

図版= 1. 東洲斎写楽《松本米三郎のけはい坂の少将実はしのぶ》大判錦絵 寛政6年(1794)/2. 月岡芳年《風俗三十二相 さむさう 天保年間深川仲町芸者風俗》大判錦絵揃物 明治21年(1888)/3. 勝川春英《人形を遣う浅尾為十郎》細判錦絵 天明8年~寛政2年(1788~90)

17世紀後半に菱川師宣が版行した墨摺り一枚絵から始まった浮世絵版画は、墨の主版に2、3色を手彩色した丹絵、紅絵、主版に紅と草を摺り重ねた紅摺絵と発展し、明和2年(1765)に、鈴木春信らによって多色摺木版画が創始されました。これは、錦のように美しいことから「錦絵」と呼ばれ、その後も、絵師と版元、職人たちの協力の下、多様な表現の工夫が生み出され、高度な技巧が駆使されました。

例えば、人物の髪の毛一本一本を表現するための「毛割り」や、細かい柄一つ一つを精緻に彫りだす彫師の技術だけでなく、薄い着物の質感を表現した「ごま摺り」、文様を光の加減で浮き出させる「正面摺」、東洲斎写楽の大首絵の背景にみる「雲母摺」などの摺りの技によって新しい木版表現がみ出されます。そして、北斎や広重が画壇に登場し風景画全盛期を迎えると、「一文字ばかり」をはじめ、四季や天候、時の移ろいを表現した、高度なぼかしの技術や微妙な色彩の重ね摺りなどが自在になされるようになり、我が国の木版技術は世界でも稀にみる高みに達しました。

このたびの展覧会は、このような彫り、摺りの洗練された技巧と、表現の工夫に注目しました。あわせて復刻版により浮世絵版画の摺りの工程を紹介します。300年の伝統を持つ浮世絵版画の高度な技術と制作の秘密をお楽しみいただければ幸いです。

関連企画

■「浮世絵版画の摺り実演会」 (公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団)

4月26日(土)

1回目 午前11時~ / 2回目 午後2時~(各回約90分)

17号館(経営学部棟)1階プレゼンテーションルーム

※ 参加人数により変更になる場合があります。

参加無料 要予約(各回先着50名)

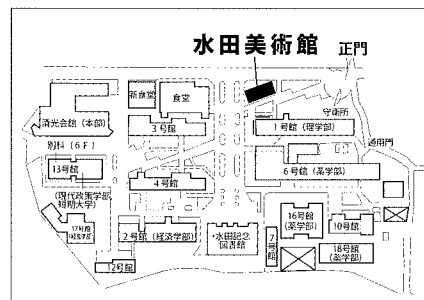
参加希望の方は電話(049-271-7327)でお申込みください。

また、当日摺りの体験ができます。

ご希望の方(先着15名)は合わせてお申込みください。

■ギャラリートーク(学芸員による展示解説)

5月17日(土)午後2時~(約30分) 参加無料



交通案内

■電車の場合

東武東上線坂戸駅乗換えて東武越生線川角(かわかど)駅下車、踏切を渡り徒歩10分

■お車の場合

1. 関越自動車道鶴ヶ島インター下車、鶴ヶ島方向に進み国道407号線を直進
2. 「脚折町四丁目」交差点で右折し、左にローソン、右に狩野動物病院の看板がある交差点で右折
3. 一本松交差点を毛呂山方面に直進
4. 橋(万年橋)を渡り、「明海大学病院」の看板のある交差点を左折し、直進、踏切を渡り坂道を上がる(約20分)



城西大学水田美術館
MIZUTA MUSEUM OF ART, JOSAI UNIVERSITY

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1
[お問合せ] 049-271-7327
<http://www.josai.ac.jp/~museum/>